

日野本町地区公共施設再編基本構想・基本計画策定検討委員会（第2回） 意見内容・対応方針整理表

資料2

項目	発言者	意見内容	総括	対応方針
対象敷地について	-	前田副委員長 現在の法規制の中で建替えを検討することになるため、どこに何でも建てられるというわけにはいかない。特に第一種低層住居専用地域は、用途地域の中でも最も厳しい規制であることを念頭に置くべき。	用途地域による厳しい規制を念頭に検討 (特に集約拠点I)	今後の検討の参考とする。
対象施設候補について	佐藤委員	日野市消防団第一分団第二部（日野第一小学校北側）を再編対象施設候補とすることは考えられないか。	施設の使われ方を把握することは重要/ 施設や講座等に関わる効果的な情報提供の取組が必要 キーワード： 効果的な情報周知 利用者に配慮した条例体系	本計画協議において庁内で設置した庁内検討会議、庁内ワーキンググループ会議にて共有し、対応を検討する。 再編に際して、新たに当該施設を整備することは難しいが、現在の活動を継続できる場所の提供は積極的に検討していく。
	滝本委員	仲町自治会館を整備してほしい。		
諸室の稼働状況について	全般	木村委員 施設の存在や貸し出し制度などの情報が市民に広く周知された状態での稼働状況なのかは重要な視点である。防災の視点から、どこにどのような施設があるか周知されていることが重要であり、再編にあたっては、施設の効果的な情報提供の取組も必要。		今後の検討の参考とする。なお、稼働率はあくまで1つの指標と捉えている。 今後の検討の参考とする（利用ルール等）。 施設所管課に確認し、必要に応じて修正する。 第3回検討委員会にて提示する。
		木村委員 本来の目的に合った使い方がされているのかも気になる。		
	宮崎(竹)委員 稼働率の数値のみで再編後のあり方を判断されては困る。			
	日野宿交流館	滝本委員 (日野宿交流館 会議室が仲町自治会の地区センターとして機能していることは理解しているが) 利用時間の制約（お祭り時、連日使用する際に物を置いたままにできない、決められた時間を過ぎると出なければならない）等を起因とした使いにくさが原因で、貸室の稼働率が低くなっているのではないか。		
	日野第一小学校	小川委員 特別教室の稼働状況として、放課後子ども教室「ひのっち」事業での利用があるため、実際には掲載グラフほどの空きがない。また、季節による変動もある。		
その他	宮崎(竹)委員 ふれあいホール2階貸室の稼働状況について、教えてほしい。			
施設の運用について	-	石川委員 現状、どのような講座が開かれ、その周知はどのように行われ、どのように申し込めば良いのかなど、ほとんど知らない。		再編に際しては、行政の縦割りも調整していく必要があると考えている。
	小池委員 各施設の条例が弊害となって使いにくくなるということがないようにすること。			
施設のあり方について	全般	藤田委員 今後50年・100年使える公共施設とすべく、ユニバーサルデザインに関わる条例やガイドライン等を遵守したうえで、子どもから高齢者、障害のある人やその家族、外国人をはじめ、多様な人々がより使いやすい施設とするために必要なことは何かを考えるべき。	縮充の実現に向け、機能分担・代替、集約を検討 キーワード： 多様な人々が使いやすい施設 日野宿交流館の展示機能の見直し 事務機能の集約	同様の認識のもと、今後の検討を進める。
	中央福祉センター	藤田委員 福祉センターとしての機能について、必要性がないとは言えないと思う。		社会福祉協議会の事務所は多摩平への機能移転を検討しており、指摘いただいた懸念はない。
	日野宿交流館	伊野委員 現在の日野宿交流館は展示内容が今ひとつで、魅力が低いと感じている。必ず全ての機能を残すのではなく、他施設等で提供できる機能は代替していくという考え方も持つべき。		日野にまつわる歴史の情報発信・展示の方法、施設間の連携には大きな課題があると考えている。本事業の目玉の1つとして、継続検討していく。
		伊野委員 貸室の反響がひどく、使い勝手が悪い。		
		谷井委員 新選組のふるさと歴史館へのアクセス性の悪さを考慮し、その機能の一部を日野宿交流館が担うことは考えられる。		
前田副委員長 史資料の見せ方や情報発信の方法が非常に重要である。				
諸室等の再編方針について	-	渡邊委員 谷井委員 コアとなる管理事務所（事務室）を集約し、人力的な効率化を図る中で管理運営していくこと等を検討すべき。	施設の立地やアクセス路にも配慮	本計画協議において庁内で設置した庁内検討会議、庁内ワーキンググループ会議にて共有し、対応を検討する。
建築計画・施設計画について	-	木村委員 施設内のみでなく、甲州街道等のアクセス路も含めて、バリアフリーを検討すべき。	今後の検討の参考とする。	
	宮崎(竹)委員 施設の立地が利用状況に影響を与える。奥まった場所に建築する場合、相応の設備を設けるなどの対応が必要。			
その他	防災	小川委員 対象敷地は、特に水害に弱い。日野第一小学校に関しては、現状、避難時の収容力が不足しているため、改築の際に配慮が必要。	キーワード： 水害対策 公共交通の利便性向上 先進事例での課題解決	本計画協議において庁内で設置した庁内検討会議、庁内ワーキンググループ会議にて共有し、対応を検討する。
	公共交通	渡邊委員 日野本町地区内に住む人々にとっての使いやすさのみならず、日野市市民にとっての使いやすさを考えた時に、最大の課題はアクセス性の悪さである。施設の整備と合わせて、公共交通の利便性向上も検討すること。		今後の検討の参考とする。
	先進事例調査	前田副委員長 現在は個別施設となっていることで、規模感がちょうど良い・自由に使えると思う人もいるようであるが、複合化することで、リラックスできなくなってしまうと感じる人が出てくる可能性もある。今後、先進事例を調査する際には、再編によるポジティブな面のみでなくネガティブな面も把握し、後者に対してどのような解決を図ったかを整理できると良い。		